

第36号 (2015-2月発行)

根郷 寿だより



発行 佐倉市立根郷公民館

〒285-0815 佐倉市城 343-5

☎ 043-486-3147

編集 根郷寿大学

根郷寿だより編集委員会

富士山を仰ぎ見る

五班 栗尾義治



今年の入梅は全国的に早く九州より東北まで全域で梅雨期に突入した。

異常気象のせいか各地に大雨を降らせ、あの梅雨の無い北海道まで大雨が降っている。この時期になると各地でアヤマヤ、紫陽花が咲き觀光地では賑わいを見せて居る。

私も数年振りに旅に出る事にした。花を見たりする観光と違って残雪のある富士山を見ようと思つて、二十六年五月二十一日より泊で富士山を見に行く事にした。

息子の車で、久し振りの東名高速を走り、途中東京料金所を通過して直ぐに渋滞にはまったが横浜インターを過ぎてからやつと解消し、その後順調に走った。足柄サーピスエリアで昼食を済ませ御殿場を経由してか

ら第二東名に乗ったが、途中には人家は少なく殆んど山中を走っている様なもので、車も余り走行してなくあつと言つ間に富士宮市に到着した。

浅間大社に参詣してから白糸の滝へ寄つたが、私は足が悪いため滝まで降りることは出来ないので駐車場の傍にある公園で腰を掛け富士山より流れてくる小川を眺めていた。

息子は一人で白糸の滝まで行き、流れ落ちる壮大な滝を写真に取めてきた。夕刻になり田貫湖畔の休暇村富士に宿泊した。

富士山ろくに在るこの宿舎はどこからでも富士山が手に取れるように見え展望は良く、全国からのカメラマンが集う最高のスポットである。各部屋からも大浴場からも残雪のある富士山の全貌を見ることが出来た。夕方の六時半頃には夕日に赤く照らされた富士山を見ることが出来、深く感動を覚えた。

又翌朝には朝日が富士山の雪に映え神々しい富士の景観を眺められた。宿を出てから富士スカイラインを経

由して曲がりくねった登山道を登り途中遠眺きの様を車窓より眺めながら五合目に到着した。

目前に迫り来る白銀に覆われた富士山の迫力は満点だ。

これまで四度も富士の山頂を極めたが、苦しみを伴いながらの登山であり、山頂でこ米光が見えた時には富士登山の喜びを充分に味わう事が出来た日であった。今回は車で五合目迄の登山であり、らくして世界遺産に登録された美しい富士山の姿を眺めることが出来た非常に楽しい旅であった。

「鳥居」

八班 大川 義郎



住んでいる近くに神社がある。小さな地域の神社で拝殿の回りをスタジイ、杉の巨木が取囲んで厳かさを一層醸し出している。

近年、この地区の氏子さんの働きで参拝に来る人が多くなってきた。神社の入口には鳥居があり普段当たり前前のようにこの鳥居を通過して参拝

している。

鳥居は神社になくしてはならない神社の象徴そのものであるが、神社によって建っている鳥居の姿・形が違う。

鳥居は、ここから神社の区域、聖域であることを示すのが華表で、形式が仏教の渡来後、その立て方に變化が生じたもので仏教の建て方を加味した建造法が用いられている。また、鳥居の形・様式は、奇進者の趣向に任せられるようで、細かく分類すると約六十種にもなるようだ。

昭和六十四年一月七日崩御した昭和天皇の葬儀に鳥居の設置問題があったことを記憶に残している方がいると思う。鳥居は中心となる柱が直線的なものは、概して仏教と無関係に建てられている。

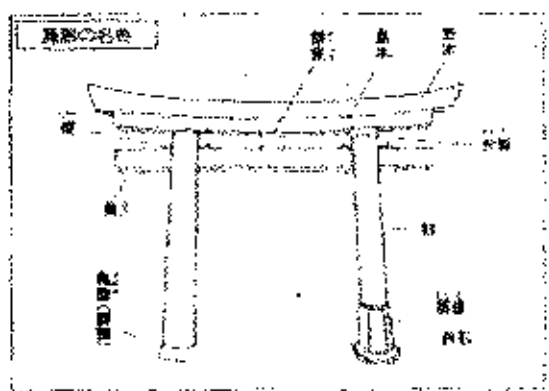
「鳥居」という名前には、鳥を宿らせるためのものなど諸説があり大きな神社によっては複数の鳥居（二の鳥居、三の鳥居）がある。

鳥居のくぐり方は、くぐる前に一歩手前で一礼する。参道の中央は「正

中」と呼ばれ神の通り道で人は左右どちらかによって歩くこととした。 「正中」横切るときは軽く会釈することを心掛けたい。

本来の鳥居は、自然の丸太を組んで直線に建てられたものが古式といわれ、柱に傾き（転び・傾斜）をつけているものは比較的新しいようだ。

鳥居は、笠木の反りの有無により神明系と明神系の二つの系統に分けられ、一つは神明系で比較的簡素である。二つ目は明神系で裝飾性が強く笠木の下に鳥木が付けられる。



一つ目の神明系は、黒木鳥居、靖

国鳥居、鹿島鳥居及び神明鳥居が代表的である。黒木とは、木の薄皮を剥かないで使用したもので、二本の柱に二本の横木（笠木と貫）で構成されている。神明系は、黒木鳥居を加工したもので、柱を丸又は八角に削って直線的に作ったもので、貫を柱でとどめ古い形式のもので、靖国神社の大華表がその典型である。鹿島鳥居は、神明鳥居の一種で貫が柱から外に出て、伊勢鳥居は、台石をはいている。

二つ目の明神系は、春日鳥居、八幡鳥居、明神鳥居、稲荷鳥居、河部鳥居、山王鳥居及び三輪鳥居が代表的である。春日鳥居は、鹿島鳥居に似ているが、笠木、鳥木の両端が直角に切られている。八幡鳥居は、仏教建築の影響を受けて曲線を用い、根基に亀腹をはいている。明神鳥居は、八幡鳥居同様に木に反りを付けて曲線をなし、柱の根基に亀腹をつけている。稲荷鳥居は、明神鳥居に似ており、柱と鳥木との間に台輪を

付けている。西部鳥居は、権現鳥居

四脚鳥居ともいわれ、笠木、島木と

もに反りを付け根基に台輪及び亀腹

があり、代表的な鳥居が秋の宮島の

有名な厳島神社の海中鳥居である。

三輪鳥居は、左右に副柱をもつて

建てられ、山王鳥居は別名・合掌鳥

居という。異様な形で明神鳥居の上

に破風形をのせたものである。

皆さんの神社の鳥居は何警でどん

な形をしているのでしょうか。明日

から神社を参拝する際の見方が変わ

ってくるのではないのでしょうか。

いざ、神社に行ってみましょう。

明神系 <small>い</small>	神明系 <small>い</small>
仏教の影響 <small>い</small>	仏教は無関係 <small>い</small>
反り・島木あり <small>い</small>	反り・島木なし <small>い</small>
春日鳥居 <small>い</small>	黒木鳥居 <small>い</small>
八幡鳥居 <small>い</small>	清國鳥居 <small>い</small>
明新鳥居 <small>い</small>	鹿島鳥居 <small>い</small>
稲荷鳥居 <small>い</small>	神明鳥居 <small>い</small>
両部鳥居 <small>い</small>	伊勢鳥居 <small>い</small>
三輪鳥居 <small>い</small>	
山王鳥居 <small>い</small>	

「原発」はいらない

元寿大学生 廣吉 正義



このところ原発再稼働の話がちょろちよるマスコミに出るようになってきた。

だが・・・福島のことと考えると、おいそれ、とはいかない。

この事故がいつ収束するのかの見通しさえ立っていないのは、核の不具合はいまの技術では手がおえないということなのだろう。核はまさに厄介な暴れ者であることよ。

ちよつとここで振り返ってみる。

国民と核との不幸な出会いのことである。日本は先ず広島に原爆を一つ、直ぐあと長崎に二つ目が落とされた。次は昭和二十九年、第五福竜丸がピキニで操業中に船員と船体が「死の灰」を浴びた。そして今回が福島原発の放射性物質放出である。というように戦前・戦後にかけて日本は世界に例がない四回もの被爆を受けている国なのだ。どれも物理的な人体

への致命的な影響を及ぼしている。

さて日本はこつこつといった事件、事故

の関連情報を適時、適切に国民に提供したと言えるだろうか、片や国民

はこれら核のことを真剣に考え、し

っかり理解したと断言できるだろうか。

そんな中、国は福島のいるんな

問題を解決せずに原発を再稼働しようとしている。再稼働すれば思わぬ

事故のほかに高レベル放射性廃棄物

もどんどん溜っていく。その最終

処分地の目途も立っていないと言う

ではないか。日本は民主主義国家で

あり主権者の声や世論は国に届かな

ければならない。

といった環境にあつて原発の再稼働

を止めるためにはどうしたらいい

のだろう。だからと云って私は特別

なことをする必要はないと思う。次

の選挙では自分の考えに最も近い候

補者に投票すれば良い。国民が納得

する民主主義をうまく機能させる為

である。

国は核に替り人間と環境にやさし

い新エネルギーを模索しなければな

らない時に来ていることだけは間違いないと思つた。

歴史ロマンへのいざない

七班 座間 功



地元の方々に歴史民俗博の愛称で親しまれている国立歴史民俗博物館が佐倉市にある。この博物館は佐倉城址公園の中に（佐倉歩兵連隊跡地に）国の明治百年記念事業として昭和五十八年にオープンした。歴史学、考古学及び民俗学に関する我が国唯一の国立博物館で、それらに関する研究をし、資料を収集・保管し展示している。敷地四万坪、建物一万坪、展示室約五千坪で、展示室は地下一階地上一階の二階建てで外に収蔵庫があり、中に展示品が十三万点余り収蔵されており、それぞれを専門とする約五十名の研究者がいるそうである。

展示室は日本の歴史・文化を扱つ

ているが、歴博のテーマは政治や国家の歴史ではなく「生活史」がテーマとのことで、政治的な事件や権力者のコーナーはない。それではタイムトンネル方式のプロローグを通して歴史ロマン漂う展示室へ入ってみましょう。展示室は六つあり、およそ時代別になっている。

〔第一展示室〕

原始古代（旧石器～奈良時代）で日本列島に人類が登場した時代から奈良時代までの世界へ導きます。縄文人の人口は五千年前の十五才以上の平均死亡年令は男女とも二十一才、そして奈良時代の一里の距離は約五百四十メートル……。

〔第二展示室〕

中世（平安～安土桃山時代）で平安時代のでやかな王朝文化、鎌倉時代の武士のくらしなど。十二単（ひとえ）……夏六枚、冬十枚、洛中洛外屏風印刷のはじまり、喫茶の広がり、朱印船、鉄砲の伝

来……。

〔第三展示室〕

近世（江戸時代）で江戸時代の人々の生活文化など。江戸図屏風、寺子屋、旅籠屋、北前船、地図、伊能忠敬の歩幅六十九センチメートル……。

〔第四展示室〕

民族（沖縄から北海道までの民族文化を紹介）で、おせち料理、土産物、人生饗礼、妖怪の世界、あばれ祭り、全国の河童像（八十呼称）……。

〔第五展示室〕

近代（幕末期～昭和のはじめころ）で文明開化、富岡製糸場、屯田兵屋、北海道開拓とアイヌ、関東大震災、同潤会アパート、活動写真館……。

〔第六展示室〕

現代（昭和六年の満州事変から昭和二十年前後を起点とする高度経済成長及びオイルショックをへた昭和五十四年ころまで）で佐倉歩兵連隊、住宅公団モデルハウ

ス、フアッシュョン、映画セット、ゴジラ映画の製作背景……。

〔施設・イベントその他〕

○全体を見るにはザックリで約二時間かかるが、詳しく見るには数回にわけて見るのがよい。

○第一展示室から順にまわることもできるが、中庭を通過してどこ

の展示室へも直接行くこともできる。

○展示室の他、ビデオボックス、図書室も利用できる。レストラン・売店もある。

○講演会、フォーラム、家族・子ども向けの行事などもある。

○城址公園の中に「くらしの植物苑」があり、苑内には、食べる、織る、染める、治す、道具をつくる、塗るの六つのテーマで植物を展示している。

○歴史友の会もあり、自主学習会、歴史の旅、見学会及び映画会などがあり、多くの会員が生涯学習の場として、いくつもの行事を楽しまれている。

このように各種行事などもあり、そして展示室内は、まさに歴史ロマンの宝庫ですので、時には悠々の歴史ロマンの世界に没ってみるのもいかがでしょうか



根郷寿大学「寿・ふれあいの歌」

四班 齋藤 たかし

この度、あと数年で半世紀を迎えようとしている寿大学が根郷寿大学と改めたのを機会に、作曲を申し出た同じ四班、内野牧夫氏からの依頼があり、シンボルとなる愛唱歌を作詞しました。このような作品で皆さんに口ずさんで頂けたら、と思いがら左記、紹介します。

（作詞・平成二十六年八月）

「寿・ふれあいの歌」

一、歴史を刻む 佐倉みち

根郷の里の 学び舎は

六丁路を過ぎた 学園に

幸せ求めて ふれあいを

二、東に史跡 出淵の

西に工業 団地あり

鉄路と県道の 中心に

幸せ求めて めくもりを

三、地域に根付く 担い手は

若人たちに 道拓く

見守り隊が 輝いて

幸せ求めて ほほ笑みを

・ソレ行こう 根郷寿大学生、オ



あゝたまげた「びっくり」した

六班 宍倉 まさ

今年の夏、早い頃、雨が降らなくて日照りの毎日、昨日の夕方までジヨウロで水をナス、キュウリ、野菜の色々にかけて居たのに、今日は一滴も出ない。

蛇口をはずしてゴミでも入って居るのかと覗き見たら何か私の顔に当たって下に落ちた、見たら雨蛙のおぼけ、長さ十八センチ位はあった

と思うひよる長い体、目をパチクリ

パチクリと私は腰が抜けそうだった、

ジヨウロの筒の中でかなり窮屈な状態

で入っていたと思う。

三分後には雨蛙の姿に、七分後には

日陰へと去って行った、祖母が良

く話していた、雨蛙に会うと近いう

ちに雨が降るとか、まさにその通り

三日後には雨が降りやれやれ明日か

ら水かけしなくとも良いと一安心し

た、雨蛙の去った後、何か顔がぬる

つとする様な気がして外の水道で顔を

を洗いました。

—寿・コラム—



編集委員 齋藤 たかし

・あまりにも目まぐるしい世の中に

なっている。近ごろは楽しい事より

悲しい事が目立つ、何故だろう。

・私の手元に皆さんから頂戴した多

くの格言や名言がある、幾つか記す。

・今どき、宮金次郎の一生を見習え

と言っても通用しないかも知れない。

だが彼は自分の事よりも他人のために

れぞボランティアの基本である。

・先輩から頂いたメモから……

七十歳にてお迎えある時は今留守と

八十歳にてお迎えある時はまだ早い

と、九十歳にてお迎えある時は急が

ずともよいと、そして百歳にてお迎

えある時は時期を見てこちらからポ

ツポツ行くと見え、尽くし寿命の日

迄。

・私の故郷に先祖代々のお墓がある。

そのお寺の住職から頂いた言葉を紹

介する「自分にな・怒るな・いじけ

るな・欲ばるな・おごるな・怠ける

な・いらつくな」肝に銘じている。

・そしてこの世の旅を楽しく過ごそ

う。「気は長く・心は丸く・腹立てず・

口慎めば・命は長い」

・昨年秋、根郷地区敬老の集いで根

郷小六年の孫娘が代表して「おじい

ちゃんおばちゃんへ」の言葉を発表

した。——これぞ祖父馬鹿なり！



—編集後記—

・昨年の夏は異常な暑さでした。し

かし曆には逆らえないのか、自然に

季節が移り変わり、私たちも年を越

しました。

・世間では様々な事件そして事故、

その中で当然のように良い事もあり

ます。そんな中、私たちは根郷公民

館を主体に、学習を「楽習」として

楽しみたいのです。

・時折向かいの根郷小の子供たちの

動静を見聞きして、子供の頃を思い

出します。筆者作詞「寿・ふれあい

の歌」を口ずさみながら、平成二十

七年度に流れを持って行きたいもの

です。

・午前中の講座で様々な知識を得て、

午後はグループでレクダンス金曜会

おしゃべりの会、それに「寿だより

編集のつどい」等々。

・日を変えての各班別活動もあり、

食事会、歴博などの見学会、こんに

やくづくり等々情報が入りました。

一年間楽しかったです、と。

(編集委員TS記)

お茶壺道中と「ずいずいずっころぼし」

♪ずいずいずっころぼし 胡麻味噌ずい♪

子どもたちは、よくこの唄を歌いながら、鬼決めや、指遊びをしています。じつはこの唄は、「お茶壺道中」の唄だとする説があります。

江戸時代、お茶どころの宇治では、新茶を江戸の將軍に献上していました。そのためお茶は、華やかな駕籠にその茶壺一つだけを積み、大名行列以上の行列で江戸まで運びました。これが「お茶壺道中」です。この行列が通るときの物々しさが、

♪茶壺に追われて トッピンシャン♪

に表れているというのです。つまり行列が通るあいだ街道筋の人々は、粗相があつて「お手討ち」にされないように、家の中に逃げ込んで息を殺し、無事に通り過ぎるのを待っていたというのです。

この唄との直接の関係は定かではなくとも、お茶壺道中の物々しさはこれくらい大変だったようです。

「佐倉茶」の歴史

佐倉茶は、幕末、佐倉藩の倉次亨が禄を失った武士の救済策として、同協社を創立したのが始まりです。明治4年、お茶に適した下総の国・勝田村富山で、良質のお茶が生産され、佐倉同協社として本社を佐倉に置き、全盛期には社員なんと489名まで増えました。明治7年には、ミルクなしの茶として、ニューヨークへ輸出され博覧会で佐倉茶は大きな反響を呼びました。



当時、佐倉茶は有名で、宇治茶・静岡茶と肩を並べていました。共進会に出品すると、必ず入賞するほど品質も良く、茶の生産も好調に伸ばしていきました。

同協社は、大正9年に解散しましたが、その後も、佐倉・八街地方は茶の産地として栽培が継承され、現在も佐倉茶としての歴史を育んでいます。

倉次 亨 (くらなみ とおる)



佐倉藩の重臣として活躍し、後に旧藩士の投産の為に佐倉に産業をおこした功勞者。明治になり藩がなくなり職を失った佐倉藩士に仕事を与えるため、倉次 亨らが中心となって製茶業を興しました。このお茶は亨らの努力によって全国にも知られるようになり、亨は、後に藍綬褒章や紅白綬有功章受賞の榮譽に輝きました。

亨は、文政一二年(1829)、佐倉藩士の子として生まれました。そして、父の隠居にともない二十五歳で倉次家を相続し、元治元年(1864)、亨は藩の重役である年寄役につきました。亨は、水戸の天狗党の乱に佐倉藩の総指揮官として兵を率いこれを鎮圧しました。慶応四年(1868)、戊辰戦争が起こると亨は堀田家と徳川家を守るため必死になって働きました。

明治になると、武士も刀を捨てて働かなければならなくなりました。亨は、仲間を集め明治四年(1871)、「同協社」という会社を作り土地を開墾しお茶の種をまいたのです。これが亨たちが作った「佐倉茶」の始まりです。亨は、同協社の社長として製茶事業に専念し、様々な困難を乗り越えついにこの「佐倉茶」は、海外にまで輸出されるようになりました。

亨は、職を失った佐倉藩士の将来を思い、佐倉藩の重臣だった者としてその責任をきちんと果たしました。それは、佐倉の発展のためだけでなく日本の近代産業発展のために大きな役割をになうことになりました。亨は、新しい時代への橋渡しという大きな功績を残し明治三八年(1905)、七十七歳の生涯を閉じました。

(出典：佐倉武家屋敷・旧武居家資料ほか) (9月の講座で佐倉茶を味わおう！)